

第 10 回エコさが基金助成 助成事業申請書

申請日 2016 年 5 月 日

■基本項目

事業名	幼児期からの環境教育実践と担い手育成事業		
申請金額 ※20万円を上限とする	150,000 円		
団体名	えこいく (佐賀環境フォーラム環境教育班)		(印)
代表者氏名 (役職)	堤 悠一郎 (リーダー)		
団体所在地	住所 〒840-8502 佐賀市本庄町 1 番地 佐賀大学中村聡研究室内	TEL	080-3942-6745
		FAX	
		Email	Yuman-tu-tu815@i.softbank.jp
担当者連絡先	氏名 秋山 翔太郎	TEL	090-6639-4671
		Email	eco iq@saga-kankyo.jp
情報発信ツール (アカウントを 持ちの方のみ)	Facebook ページ URL https://www.facebook.com/ecoiqu/		
	Twitter アカウント @kankyokyoiku_sa		
	ブログ URL http://saga-kankyo.jp/category/report/ws/ecoiq/		
	その他		

■ 第三者機関の認証

「CANPAN」ID ★取得数	ID () ←10桁のID番号を記入 ★ ()つ
佐賀県市民活動団体認証推進協会	認証済み ・ 未認証
中間支援組織の推薦	中間支援組織名 特定非営利活動法人 佐賀県 CSO 推進機構 (印)

◇◆下記の3つの書類を作成してください。◆◇

- 1.事業計画書(別紙1) 2.収支予算書(別紙2) 3.支出積算明細書(別紙3)

※本助成申請用紙を補足する資料(活動内容紹介パンフレット、ニュースレター等)がある場合:
其々5部ご準備の上、本助成申請書に同封して佐賀未来創造基金までご郵送もしくはご持参ください。

<支援有資格者情報>

認定ファンドレイザー認定者	准認定ファンドレイザー (有) ・ 無
	特定非営利活動法人 佐賀県 CSO 推進機構 氏名: 下田 洋平 役職: 経理
	認定ファンドレイザー 有 ・ 無
	氏名: 役職:

■ 事業実施状況及び実績報告の公開方法

支援者や社会に対する事業報告	<p>該当するものに✓をつけてください。(複数選択可)</p> <p><input type="checkbox"/> 報告書の送付</p> <p>■ ニュースレター・パンフ/えこいく通信</p> <p><input type="checkbox"/> メルマガ</p> <p>■ ホームページ・facebookでの活動報告</p> <p>■ 事業報告会実施/佐賀環境フォーラム活動報告会</p> <p><input type="checkbox"/> 現場見学会実施</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>
----------------	--

事業計画書

事業の背景と目的 (300 字から 400 字程度)

今日、環境問題に対する市民の意識は年々高まりに対し、正しい環境認識を有し、環境意識の高い人材の育成を目指すため、平成 13 年度より佐賀大学の学生や佐賀市、一般市民らが協働で「佐賀環境フォーラム」を実施しています。

えこいく（佐賀環境フォーラム環境教育班）は、佐賀環境フォーラムを受講する佐賀大学生と市民とが一緒になって主体的に活動を展開するワークショップの一つとして、平成 19 年に活動を始めた。メンバー構成は、佐賀大学生 6 名と教員 1 名、一般の市民 4 名の総勢 11 名。

人間形成の基礎が培われる幼児の頃から自然や環境の大切さを知ってもらい、思いやりの心を持った大人になってもらうことと、子どもの気づきを通じて、家庭内での自然や環境に対する学びとなることを目的とする。これらのことを達成すべく、これまで自作した環境紙芝居や開発したごみ分別ゲームなどの環境教育プログラムを幼稚園や保育園を中心に実施している。

事業内容 (300 字から 400 字程度)

- ・チリメンモンスター教室（複数回実施：8 月 20 日他／各 20 名程度）

中心市街地の施設（わいわいコンテナ 2 を予定）や幼稚園、保育園で海の生物を考える教室を開催。

未選別のチリメンジャコに混じっている、規格外の魚介類の稚魚や幼生を探し出し、観察する。

それにより、親子で海の生物の多様性を学ぶ。

<主な内容> グループごとにチリメンの選別・観察・講師による解説

- ・すずむしのおんがくかい（1 回実施：8 月 19 日／各 20 名程度）

佐賀大学内にあるビオトープ（すずむしを育成）を利用し、スズムシ鑑賞会を実施。

施設内でスズムシや鳴く虫たちについて童謡やゲームを通じて説明し、録音 CD で聴き比べながら知る。

外に出て、スズムシや他に鳴く虫がどのくらい生息しているのか聴き分ける。

<主な内容> 鳴く虫の説明・クイズ・童謡「むしのこえ」・CD で聴き比べ・野外観察

- ・わいわい！カルタ大会（1 回実施／20 名程度）

中心市街地の施設（わいわいコンテナ 2 を予定）を利用し、親子を対象にカルタ大会を行う。

他、自前のプログラムであるごみ分別ゲームや環境紙しばいの上演も行う。

<主な内容> 環境カルタ（佐賀女子短期大学作成）・環境紙しばい・ごみ分別ゲーム

- ・自然の中で子どもと遊ぼう！1Day 合宿（1 回実施／学生 10 名・子ども 10 名程度）

青少年自然の家（北山少年自然の家を想定）等を利用し、幼児教育や自然環境に関心がある大学生・短期大学生などの若年者を対象に、幼児期の子どもたちとの触れ合いを通じて環境教育のきっかけづくりを行う。

<予定プログラム>

午前：子たちへの対応を学ぶ（自然体験を実践する NPO 職員や自然の家職員を想定）

午後：子どもと自然の中でフィールドワーク、ネイチャークラフト、子どもたちの安全の見守り

一日のふりかえり、紙しばい実演

主な活動スケジュール	※事業全体の開始年月日および終了予定年月日を明記のこと。
<p>2016年4月1日～2017年3月31日まででお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月中旬 子どもと遊ぼう 1Day 合宿 ・8月19日 すずむしのおんがくかい 開催 ・8月20日 チリメンモンスター教室 開催 ・9月頃 わいわい！カルタ大会 ・10月22～23日 さが環境フェスティバル 出展 及び 佐賀環境フォーラム中間報告 ・1月下旬 佐賀環境フォーラム成果報告会 	
予想される成果・効果	
<ul style="list-style-type: none"> ・次世代の社会を担う子どもたちの環境に対する関心が高まる ・環境教育を担う若い人材発掘と育成となる ・大学生の社会への参画 	
その他特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀環境フォーラムのワークショップとしても活動を行っており、10月下旬頃に中間報告会、1月下旬頃に成果報告会を予定している。 	

事業収支予算書

	区 分	予算額（単位：円）	備 考	
	収 入	第10回エコさが基金助成	① 150,000	
自己資金		佐賀環境フォーラム支援金	30,000	ワークショップ活動費
事業収益金 その他の収入				
合 計		【A】 180,000		

	費 目	予算額（単位：円）	予算額の内、本助成金による予算額（単位：円）
	支 出	※勘定科目を記載	
人件費		24,000	24,000
講師謝金		20,000	15,000
旅費交通費		25,000	25,000
消耗品費		26,000	21,000
印刷製本費		70,000	50,000
保険料		10,000	10,000
会場賃借料		5,000	5,000
合 計	【B】 180,000	② 150,000	

※【A】＝【B】となります。 ※①＝②＝③となります。

事業支出積算明細書（本助成金による支出分）

（単位：円）

費 目	金 額	積 算 内 訳 （単位：円）
人件費	24,000	スタッフ日当（4 日開催） 1,000 円/日×6 人×4 日
講師謝金	15,000	講師謝金（4 日開催） 5,000 円×3 人
旅費交通費	25,000	1Day 合宿 25 人乗りマイクロバスレンタル料
消耗品費	21,000	チリメンモンスター教室一式 （教材用未選別チリメン、バット、ルーペ、ピンセット等） 10,000 すずむしのおんがくかい一式 （図鑑、飼育容器、虫かご、ラジカセ、懐中電灯等） 9,600 わいわい！カルタ大会一式 （ブルーシート等） 1,400
印刷製本費	50,000	チラシ印刷費及びデザイン費（1,000 部） 10,000 円×4 回 当日配布資料印刷費（20 部） 2,500 円×4 回
保険料	10,000	1Day 合宿 500 円/人×20 人
会場賃借料	5,000	
合 計	③	

※① = ② = ③となります。